

# OZORA

おおぞら

2011年10月発行 NO.161

- 発行人 水野 一久 (平成23年度・会長)
- 編集責任者 橋本 正幸 (地域活力向上委員会)
- 編集委員会 地域活力向上委員会

- 一、われわれは自己の研鑽に努め、英知を養う。
- 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
- 一、われわれは団結して中小企業の発展をはかる。

URL:www.tsc21.gr.jp E-mail:tsc@tsc21.gr.jp



鳥取県東部中小企業青年中央会



会長 水野 一久

## 会長あいさつ

早いもので、年度テーマ「感謝体现」を掲げてスタートした平成23年度もあっという間に3ヶ月が過ぎてしまいました。現在は、あたふたしている会長を役員の方々の皆さんを始め、さまざまな会員の皆さんに助けて頂いている状況です。本当にありがとうございます。そして会員の皆さんは、関わりを持っておられる多くの方々に感謝を表し、伝え、「人を大切にする企業作り」を目指しておられると思っております。8月に行われた「親子ふれあい」では、小沢見海水浴場にて、会員とご家族や恋人の方々を含め150人を超える参加者で様々なイベントを実施しました。今年度は経営者として経営資源である「人」に限定しながら感謝を伝えていくことを実施また勉強していますが、本来であれば、一番初めに「ご家族や恋人」へ感謝を伝えなければいけなかったと反省しています。「親子ふれあい」のイベントを通して、感謝の気持ちが少しでも伝わっていることを願っています。9月例会では「自分の好きなところ」というテーマのもと、50名以上の会員が壇上に上がり1分間スピーチを行いました。初めての試みなので心配な部分もありましたが、自分自身をさらけ出しながらの発表は「流石！経営幹部！」という個性的なスピーチばかりで、大変盛り上がりました。また、個人的にはスピーチを聴いている皆さんの姿勢にも驚かされました。「聞く」ではなく「聴く」という姿勢と盛り上げてあげようという温かい気持ちが感じとれました。以前、「聴という漢字は耳十四心から成り立ち、一つの心だけではなく十四の心をもって耳を傾けること」と教えられたことがありますが、全身全霊で一生懸命聴いてあげる仲間の姿勢に感激しました。

あと9ヶ月、会員全員で「感謝体现」を実践しながら、個人と企業の成長を目指していきたいと思っております。

### 7月例会

#### 経営権確立委員会

委員長 大田原俊輔

新年度初めの「7月例会」ということで、二年連続の委員長という立場で担当をお引き受けしました。しかしながら、年度開始前からの準備ということ、細かいところにまでなかなか手が行き届かず、歯がゆい感覚でスタートした7月例会でした。

昨年度は、乾杯までに時間がかなり超過したのが問題という指摘があり、OB・来賓の方々の俟たせてはならないと思い、委員会報告の方法等を色々検討しましたが、結局、昨年通り実施することとなりました。委員会メンバーの協力もよく、順調に進行できそうと思いきや、なぜか時間がおそいきハラハラしました。岩崎OBにまとめてプログラムを進行して頂いたおかげで、最終的には5分遅れくらいでの進行でまとめることができ、途中のOB・来賓との交流の時間（今年も賑やかでした）を削ることにならずに済んで、心底ほっとしています。進行にあたって、多くの方々から多くのアドバイスを頂きましたことについて、お礼申し上げます。

その後のソレイユビルでの懇親会もOB・現会員とも多数出席頂き、盛大に執り行う事ができました。また、来賓の参加がありましたことは、うれしい限りです。皆様本当にありがとうございました。

最後に、懇親会への移動に際しての手配の不手際、懇親会参加者の会計上のチェックの甘さなどの反省点を残すことになりましたが、年度引き継ぎというものの難しさを実感した例会でした。

### 9月例会

#### スタンディング委員会

委員長 高木 秀員

例会テーマ「一歩踏み出す勇氣。心ーしんーの仲間と共に～1分間で伝えたい自分の好きなところ～」というテーマのもと、私にとっては初委員長、初担当例会という中、役員会でも様々な意見を頂きながら、スタンディング委員会メンバー全員が一丸となり、開催いたしました。

多くの会員の生の声が聴ける例会にしようという想いのもと、会員全員に例会までの間、スピーチの準備として、目の前の自分について考えて頂きました。「自分の好きなところ」なかなか伝える機会がないことです。49名の1分間スピーチとなりましたが、限られた時間内で多くの発表者がいる中で、いかに自分の中身をどう伝えられるか、相手を理解する気持ちを持って心で聴く例会でした。この例会を経て目の前の自分について考え、伝えることで、自分らしい色を仲間、御客様、社員、家族、周りの方々にも伝えやすくなったのではないのでしょうか。そして、納得のいく自分でどんどん成長していき、商売も発展していけるよう、足元を固めていきたいと思っております。又、お互いに自己開示することで、会の結束を共に深めることが出来ました。さらに手を取り合えるような青年中央会にしていけるよう会員一人一人が一歩踏み出し、一生懸命参加し、共にスキルアップしていける会にしていきたいと思っております。一つの例会をやり遂げるのにも会員の皆さんや社員、家族、周りの方々の協力あってです。

感謝。皆さんありがとうございました。

# 第11回 親子

# ～「HOT! HOT! おかげサマ



# ふれあい例会 サマーDAY大感謝祭！カモン！！



## 第11回 親子ふれあい例会

親子ふれあい実行委員会

実行委員長 千馬 高広

今回で11回目となりました親子ふれあい例会が、8月7日（日）、最高の天気そして最高気温（汗・汗・汗・・・）のもと、小沢見海水浴場にて開催されました。

昨年以上に波一つないベストコンディション、今年も人気イベントのジェット・ボートは最高ではなかったでしょうか！ご協力いただきました、平井OB・鳥越直前・村山会員には暑い中の運転ほんとと感謝感謝であります。ありがとうございました！

又、今年のイベントの目玉、『ターゲット』。砂浜に書いた円の的の中に、いろんな形をしたボールを思い思いに投げるイベントですが、ちびっこ達も楽しんでいただけただけではないでしょうか！企画運営の林実行委員含め担当委員会のみなさんお疲れ様でした。

それと三役の皆様にもご協賛頂き感謝しております。

これ以外にも、ちびっこプールも小さなお子さんには楽しんでいただけました。

たまにおじさんが占領して、《おっさんプール》になってましたが・・・（笑）

その他イベントとして、ビーチバレー・海の家・バーベキュー・・・昨年と大きくは違いませんが、なるべくゆったり家族が触れ合える時間を持つことを考えて企画しました。いかがでしたでしょうか？

次年度への検討事項などいろいろあるかと思いますが、ご参加いただいた皆様のご協力で、無事終わることが出来ましたと思います。ありがとうございました。

そしてなにより6月から協議検討重ねて助けていただいた、実行委員のみなさんほんとに感謝しております！ありがとうございました！

『～「HOT！HOT！おかげサマーDAY大感謝祭！カモン！！」～』

来年はどんなサブテーマかとっても楽しみです!!!（笑）

## 県 総 会

.....県理事 谷口 貴

7月25日(月) ホテルモナーク鳥取にて、第37回平成23年度通常総会・懇親会が開催されました。総会では、197名(委任状含む)の出席により第5議案まで滞りなく承認されスムーズに進行が行われました。満場一致で、新会長が誕生し、22年度西根県会長から、23年度山上県会長へと鍵の引渡しも行われました。

本年度のテーマを「結集×共感×融合」、スローガンに(共に学び、共に成長する)を掲げ、全会員のベクトルを合わせ、鳥取県内の地域、業界、年齢、性別を超えて結集、共感し、融合させたTSC力をもって、各地区の活動をして、「鳥取県青年中央会に入って良かった」と思えるような事業をしていきたい!と山上新会長より強い所信表明がありました。

総会終了後、懇親会では来賓もお招きし盛大に開催でき、各地区の新理事の紹介、各地区新委員長の紹介が行われ、東部、中部、西部の懇親会もより深める事が出来ました。

22年度西根県会長をはじめ県理事の皆様、大変お疲れ様でした。そして、1年間宜しくお願ひします。

## ラーメンクラブ

.....書記 谷口 毅

ラーメン。みなさんは、この不思議な食べ物を聞いたことがありますか? つるつるとして、あったかくなって、ほんわかと幸せな気分になる。私は、ラーメン倶楽部に参加して、初めてラーメンという食べ物を体験しました。

ラーメンは、幸せの象徴。そして、団結力や友愛の象徴でもあります。月に1回か2回、みんなでどこかのラーメン屋さんを集まって、心を一つにする。みんながみんな、仲間であることを感じさせてくれる食べ物なのです。

最近、仕事で疲れていませんか? ビジネスは、豊かに人生を彩ってくれますが、時に残酷に、私たちの心を切り刻みます。大人の世界の楽しさと共に、その醜さを直視しなければならぬ時もあるでしょう。

私たちは、どこに心の救いを求めればよいのか? その答えは、ラーメンに他なりません。仲間に他なりません。ラーメン倶楽部は、みなさんの心に、熱い熱い活力を注ぎ込んでくれるのです。



## TSCしゃんしゃん同好会

.....幹事 坂本憲一

TSCしゃんしゃん同好会は、平成23年8月14日に「第47回鳥取しゃんしゃん祭」に初参加しました。森原代表幹事を中心に踊り子35名、世話人10名、総勢45名で色鮮やかなしゃんしゃん傘を手に鈴の音を響かせ華麗に舞って参りました。

今回、会員内の親睦と外部アピールを目的に「TSCしゃんしゃん同好会」が結成され、決起会が行われたのが4月。そこから着々と準備が進められて行きました。

6月から本格的に全体練習が始まり、練習日に踊り子全員が揃う事は叶いませんでしたが、初参加するにあたり青年中央会の名前に恥じぬよう、皆さん一生懸命に練習されました。

また、外部アピールの為に皆で知恵を出し合いオリジナルTシャツや給水車、のぼり旗や団扇など、参加する踊り子が嬉しくなるような環境も整えて頂きました。

本当に皆様のご協力を頂いて実現したTSCしゃんしゃん同好会。会員皆さまのご支援、ご協力、誠にありがとうございました。



## 限界ラバーズ

.....経営権確立委員会副委員長 前田真教

岩美駅から鳥取駅間の約20キロを歩きとおす、第2回ナイトハイクを9月24日に行いました。必要なのは歩く気力と自動車賃の320円。台風あとで心配だった天気はTシャツでも何とかかなりそうな気温で雲ひとつない夜空。今回も前回とは違うメンバーを加えて夜10時半に出発して午前2時半にゴールしました。今回は、しち山峠と榎峠という2つの峠ごえをしつつ、途中の福部の民家からすごい勢いで飛び出してきたイノシシ(大人)!?とぶつかりかけたり、滝山の田園道路ではアレをふんづけたりと、満天の星空のもと妙なテンションで参加者11名全員が無事完歩致しました。昼間歩くのとは違い、ナイトハイクは不良の香りがして何ともスリリング。その証拠にすれ違う車が必ずスローダウンするんですよ(はたから見ると怪しい人たちなのではないでしょうか?) まっそんなこんなで、若桜に続いて岩美を制覇しましたので次は青谷から鳥取を目指します!!



## Information

### ●9月入会

小林 久剛氏 平井勝治税理士事務所

新社屋

森 雅道「concierge 居酒屋 MORI」

西根伸吾

「株式会社NLN フィリピンセブ営業所」

## 編集後記

新年度が始まり、はや3ヶ月・・・

何が何だかわからぬまま今に至っています。

水野年度では、「感謝体現～人を大切にする企業を目指そう～」のののもとに、各委員会の委員長・副委員長はテーマを具現化すべく、精力的に委員会を導いていかれています。

本年度すでに第2クオーターに入りました。この1年を皆さんで力を合わせ有意義なものにしていきましょう!!

地域活力向上委員会 委員長 橋本 正幸